

「キーボード1文字マクロ」

概要: bgmファイル内容を実施する。

ショートカットキー: 入力欄以外で【●(0~9, A~Z)】のキーを押下時。

実行内容: [/BGM/●.bgm]を一時的に読み込んで、コマンド[?●]を実行する。

「コマンド一覧」

第1部

1.1	[#lo]	ダイアログから選択した知識リストを新たに読み込みます。
1.2	[#lo ファイル名]	ファイルで指定した知識リストを新たに読み込みます。
1.3	[#r]	再度読み込みます。
1.4	[#sn]	現在の知識リストを「.jpl」という拡張子で保存します。
1.5	[#s]	上書き保存します。
1.6	[#exit]	HUMANOTEを終了します。
1.7	[#u]	知識リストの誤った削除操作を取り消します。★削除操作のみ？
1.8	[#dc]	知識リスト内のコメント削除します。行頭からはじまるコメント文は削除されません。
1.9	[#9]	推論の実行を「別の行にある事実又はルールとのマッチ」までスキップして止まります。
1.10	[#ma]	マニュアルを開きます。
1.11	[#i]	現在の知識リストをすべて表示
1.12	[#i 行番]	行番で指定した行の内容を表示
1.13	[#d 行番]	行番で指定した範囲を現在の知識リストから削除
1.14	[#cl]	知識リストを全てクリア
1.15	[#e 行番:新しい知識]	行番で指定した行の内容を、新しい知識の内容に置換
1.16	[#e 行番]	行番で指定された行の内容を編集
1.17	[#Dep 深さ]	深掘度を深さ(0から9)に更新します。
1.18	[#Ti]	タイマーを処理を行う状態にします。
1.19	[#Ti]	タイマーを処理を行わない状態にします。
1.20	[#Co]	コメント表示を行う状態にします。
1.21	[#Co]	コメント表示行わない状態にします。
1.22	[#dir]	カレントディレクトリに含まれるファイルとサブディレクトリの一覧を表示
1.23	[#dir ディレクトリ名]	指定されたディレクトリに含まれるファイルとサブディレクトリの一覧を表示

第2部

2.1	[#slog]	現在、表示ログ欄に蓄積されている内容の全てを「.log」という拡張子が付いたファイルに保存します。
2.2	[#plog]	表示ログを印刷します。 ※現在の知識リストは、listコマンドで表示ログに表示した内容を印刷してください。
2.3	[#pvlog]	表示ログの印刷をプレビューします。
2.4	[#allc]	現在、スタック・表示ログ・一時ファイルに蓄積されている内容の全てをクリアします。
2.5	[#stack0]	一時ファイルに蓄積されている内容の全てをクリアします。
2.6	[#86]	ウィンドウサイズを800×600に戻します。
2.7	[#shome]	ホーム知識リスト(home.jpl)に現在の知識リストの内容を保存します。
2.8	[#T_ON]	根拠ツリーを表示する状態にします。
2.9	[#T_OFF]	根拠ツリーを表示しない状態にします。
2.10	[#SLOW]	スローモーションする状態にします。
2.11	[#SLOW]	スローモーションしない状態にします。
2.12	[#INFN]	無限ループの表示を抑制する状態にします。
2.13	[#INFN]	無限ループの表示を抑制しない状態にします。
2.14	[#SPK]	音声合成を行う状態にします。
2.15	[#SPK]	音声合成を行わない状態にします。
2.16	[#cl ファイル名]	知識リストをクリアした後、ファイル名で指定された知識リストを読み込む
2.17	[#ccl ファイル名]	ファイル名で指定した知識リストを現在の知識リストの後半に追加して読み込む
2.18	[#cd ディレクトリ名]	カレントディレクトリをディレクトリ名で指定した場所に変更
2.19	[#cd]	現在のカレントディレクトリを表示
2.20	[#mv 行番A 行番B]	行番Aで指定した行に、“行番B”の内容を移動
2.21	[#ins 行番:文字列]	行番で指定した行に、“文字列”の内容を挿入
2.22	[#sp 行番]	行番の内容を音声合成します。
2.23	[#speak 行番]	”
2.24	[#sp “□□□”]	入力欄から、□□□の内容を音声合成します。変数を含めることはできません。
2.25	[#speak “□□□”]	”
2.26	[#rkey]	入力欄から、音声認識の「呼び名」を表示します。
2.27	[#rkey “□□□”]	音声認識の「呼び名」を内容を、□□□に変更します。

第3部

3.1	[#BR]	ボタン選択(運用)画面を起動します。
3.2	[#CBACK_D]	背景色を「DarkRed」に変更します。
3.3	[#CBACK_P]	背景色を「Pink」に変更します。
3.4	[#CBACK_L]	背景色を「LightBlue」に変更します。
3.5	[#CBACK_N]	背景色を「NavyBlue」に変更します。
3.6	[#CBACK_G]	背景色を「Green」に変更します。
3.7	[#CBACK_Y]	背景色を「Yellow」に変更します。
3.8	[#CBACK_W]	背景色を「White」に変更します。
3.9	[#ERR1]	現在の知識リストに同一内容の行が存在するかの判別を行う状態にします。
3.10	[#ERR1]	現在の知識リストに同一内容の行が存在するかの判別を行わない状態にします。
3.11	[#ERR2]	リスト登録時の既存のルールのヘッドとボディが入れ替わったもののエラー判別する状態にします。
3.12	[#ERR2]	リスト登録時の既存のルールのヘッドとボディが入れ替わったもののエラー判別しない状態にします。

3_13	[#REQREF]	req有の場合結合された知識リストの全体を表示する状態にします。
3_14	[#REQREF]	req有の場合全体リスト表示しない状態にします。
3_15	[#RMD]	残メモリ容量の警告表示する状態にします。
3_16	[#RMD]	残メモリ容量の警告表示しない状態にします。
3_17	[#VEMPTY]	変数と空文字のマッチさせる状態にします。
3_18	[#VEMPTY]	変数と空文字のマッチさせない状態にします。
3_19	[#TABOO]	否定処理を行う状態にします。
3_20	[#TABOO]	否定処理を行わない状態にします。
3_21	[#VRECOG]	音声認識を行う状態にします。
3_22	[#VRECOG]	音声認識を行わない状態にします。
3_23	[#SMCAN]	類似候補提案を行う状態にします。
3_24	[#SMCAN]	類似候補提案を行わない状態にします。
3_25	[#]	起動時、ボタン画面を表示する(メイン画面を表示しない)状態にします。
3_26	[#INITBR]	起動時、ボタン画面を表示する(メイン画面を表示しない)状態にします。
3_27	[#INITBR]	起動時、メイン画面を表示する(ボタン画面を表示しない)状態にします。
3_28	[#PLAY]	プレイモードを開始します。
3_29	[#PLAY]	プレイモードを終了します。
3_30	[#LSIZE_F24]	知識リスト表示欄の文字サイズを、24ptにします。
3_31	[#LSIZE_F20]	知識リスト表示欄の文字サイズを、20ptにします。
3_32	[#LSIZE_F16]	知識リスト表示欄の文字サイズを、16ptにします。
3_33	[#LSIZE_F12]	知識リスト表示欄の文字サイズを、12ptにします。
3_34	[#BSIZE_F64]	ボタンフォームの文字サイズを、64ptにします。
3_35	[#BSIZE_F48]	ボタンフォームの文字サイズを、48ptにします。
3_36	[#BSIZE_F32]	ボタンフォームの文字サイズを、32ptにします。
3_37	[#BSIZE_F24]	ボタンフォームの文字サイズを、24ptにします。
3_38	[#VRECOG_M1]	音声認識モードをモード1(リストから近いものを選択)に変更します。
3_39	[#VRECOG_M2]	音声認識モードをモード2(音声をそのままテキスト化)に変更します。
3_40	[#SPLIB_M1]	音声合成モードをモード1(SpeechLib)に変更します。
3_41	[#SPLIB_M2]	音声合成モードをモード2(OpenJtalk)に変更します。
3_42	[#BR_M1]	ボタン画面表示形式を「1行2列／横スクロール」に変更します。
3_43	[#BR_M2]	ボタン画面表示形式を「数行1列／縦スクロール」に変更します。
3_44	[#ver]	HUMANOTE／中学 \$ Prologのバージョン情報を表示します。
3_45	[#LEARN]	テンプレート学習画面を起動
3_46	[#STOP]	中断関連処理 (発声中断 探索中断フォーム表示 読込中断メッセージボックス表示)

第4部

4_1	[#NF_L]	現在のネットワークノート区分 (例えばA0)にネット保存した最新の内容を、現在の知識リストとして読み込みます。
4_2	[#NF_S]	現在のネットワークノート区分 (例えばA0)に現在の知識リストの内容を上書き保存します。
4_3	[#NF_DL]	ネット保存したすべての内容をローカル(jdprolog¥log¥net¥)にダウンロードします。
4_4	[#NF_ALLCLEAR]	ネット保存したすべての内容を削除します。
4_5	[#NF_D]	ネット保存した過去のバージョンがネットに残っている場合、その内容のみを削除します。
4_6	[#NF_G]	現在のネットワークノート区分 (例えばA0)に、ネット保存した現在および過去のバージョン内容(ネットに残っている場合)を表示します
4_7	[#SPUP]	前に行った探索の結果を利用して同じ探索の繰り返しを抑制し、高速化を行います。
4_8	[#SPUP]	原則、実行しないでください。 高速化(前に行った探索の結果を利用して同じ探索の繰り返しを抑制)を無効化します。